

近代医学に対する ガンジーの是非

・病氣は天のお告げ

「なぜ病氣になるのでしょうか。病氣の原因は自分の無知とわがままです。食べ過ぎて消化不良になる、医者へ行くと薬をもらって、そして治たらまた食べすぎる、また薬をのむ……。もし最初に薬をまなければ、自分の罪にさわり罰を受けて、二度と食べ過ぎるようなことをしなはすです」

「悪習におぼれ、病氣をひき起こしても、医者が治せばこ

りもせず、悪習をくり返すのです。もし医者が介入しなければ、自然の働きがあつたでしょう。自分自身を統御する力を獲得し悪習から解放され、幸福になることもできたでしょう」

・病院は文明衰退のしるし

「病院といふものは、邪悪の温床でもあります。人間が自分のからだに注意をはたらかなくなるにたがって、不道德が増加しています。ヨーロッパの医者が、人間の健康を守

るために年間何千匹という動物を殺したり、生体解剖をするのは最悪です。宗教はそんなことを容認していません。人間の肉体のために、そんなに多くの生命を奪つてよいはずはありません」

「私は病院の数の多いことが文明の尺度になるとは思いません。家畜小屋の数が、共に生かされている家畜の生命に対する人間の思いやりのなさの微候であると同じく、それはむしろ文明衰退の微候なのです」

「私たちが必要としているのは、肉体よりもむしろ魂の救済者です。病院や医者の数の増加が、決して文明の指標ではありません。みんなが自分のからだを甘やかすことが少

ない限り、自分も世の中も良くなります」

・生体実験は最悪の罪

「私の意見としては、生体解剖は、今日人間が神の神の遺られた美しい生き物たちに対して犯している罪の中でも、最も罪深いものだと思ひます。自分たちの生きる代償に、他の有情の生き物たちを苦しめるくらいなら、われわれは自分の生命を断念すべきです」

▼ガンジーの健康論より

M・K・ガンジー
編集工房ノア発行

一九八二年
一六〇〇円



ワトリの姿に、心痛めた方も多いでしょう。

このような願いは、生きもの同士が別のものであるく、互いに結びついているといふ、人間と自然との共感、協調性から生まれてきます。もし自分があの檻の中のウシであつたら、解剖台の上のカエルであつたら――子供たちはどう思うでしょう。多くの宗教は、生きとし生けるものみなすべて、大宇宙の生命体の分身であるといふ、それゆえ我々人間と他の生きものは、分ちがたい絆を結ばれていることを教えます。

真によりよい社会とは、人間とものの結びつきだけではなく、人間と生きとし生けるものすべてが共感と愛情で導かれて結ばれる社会でありましよう。私たちはそのような立場から、我々人間をも含むすべての生きものの命の尊重、そして生命の尊厳をおかす動物実験、生体実験、家畜産業、家畜工業に反対するものです。



は、十分にありません。

動物実験はいいが、人体実験は許されない、などということは、核兵器に匹敵する恐ろしい生物・化学兵器に反対する根拠をもつことができないといふこと。

動物を支配する論理は、必ず人間を支配する論理と結びついています。

医学に依存しない道へ

私たちは、医学と医療、健康と病氣の問題について、考えています。地球上に生命が発生して以来、三十五億年の歴史は、この地球をたどるものなく美しい調和とバランスの世界として作り出してきました。生きとし生けるものは、他種の生物のいのちの糧として身を捧げ、人間種族のように、老若無害にあそぶものはありません。

えを改める必要があります。まず第一に、人間はなぜ病氣になるのかを考えます。次に、もし病氣になつたら、どうしたらよりよい方法で治すことができるかを選びます。そして結局のところ、本当の健康とは何かということにたどり着きます。

大自然の中に生きている野生の動物たちは、動脈硬化や胆石や心臓発作や肝硬変にならなすのでしょうか？地球に生命が発生して以来、三十五億年の歴史は、この地球をたどるものなく美しい調和とバランスの世界として作り出してきました。生きとし生けるものは、他種の生物のいのちの糧として身を捧げ、人間種族のように、老若無害にあそぶものはありません。

ただ人類のみが、この四大幸福に恵まれている理由は何でしょうか。それは

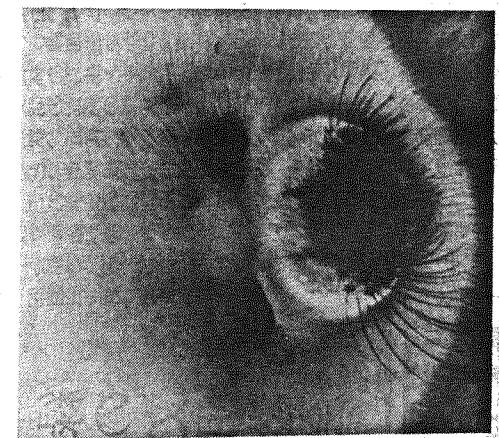
おそろく、人間の文明が発達すればするほど、生命三十五億年の歴史から足を踏みはずし、自然の調和をかき乱し、自然を征服・支配しようと思ひあつてきた、そのことまへに、自然の報復なのではないでしょうか。

果ては、苦しみ、苦あれば、自然はすべてバウンスの運動です。人の病は、必ずそのバウンスを破つた結果であり、美食美衣、豊饒饗食の結果が、心身の虚脱化、疾患として現れてくるにすぎません。その原因を問うと、たゞに人工的・暴力的手段を用いて、老化や病気の抑制を、征服しようとする近代医学は、ガンジーが説いているように、悪に悪を重ねる行為です。

生きとし生けるものへの共感と愛情を

世界的広がり

このような運動は、イギリスだけでなく、西ドイツ、フランス、アメリカ合衆国などにも広がっており、互いの情報交換や、交流をやっています。日本ではまだこの運動はほとんどない、あっても非常に健康なものによります。けれども英国の雑誌に、日本における実験動物に対する虐待のルポがのこつて話題になっています。日本でもぜひ、動物を守る運動が起きてほしいと切望しています。」



動物たちは語っている。

漢方の疑問にズバリ答える！

漢方問答

東洋医学の世界

荒木正胤 四六判上製三六〇頁 2400円＋300

漢方の手はときから「傷寒論」の奥義に至るまで漢方の理論と実際を問答形式にてわかりやすく説き及す。初学者から専門家まで漢方を志す者の必読書。

続 漢方問答

食養生の思想

荒木正胤 四六判上製三四〇頁 2400円＋300

わが国の食生活のあり方を再検討し、食養生の源流を辿りながら、日本人に合った食生活を探る漢方養生論。無病長生の道を指し示す漢方問答実践篇。

病むいのち・病む社会・病む自然

癒しの思想

丸薬買 米い医家の仲を超えて病根を深く追求し、生活全体の改革に挑む。1800円＋300

決定版 図説気功法

星野修・津村喬 気を練る健康法・気功法の実修法を詳細に解説する決定版。2200円＋300

柏樹社 ☎03-827-8431 振替東京0-33724 千113 東京都文京区千駄木2-8-3